

教科	科目	単位数	学年	学科	区分	使用教科書
工業	実習	6	3	セラミック	必修	セラミック実習 日本セラミックス協会

1. 学習の到達目標

セラミックの各分野に関する技術や技能を実験や作業を通して体系的に習得させ、新技術に主体的に対応できる意欲と能力を育てる。

2. 学習の評価

評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
評価の規準	セラミックに関する基礎的技術について関心を持ち、その改善・向上を目指して意欲的に取り組む。	基礎的な知識と技術を活用して適切に判断し、創意工夫する能力を身に付けている。	セラミックに関する基礎的な技術を身に付け、安全や環境に配慮し、実際の仕事を合理的に計画する。	セラミックに関する基礎的な知識を理解しながら身に付け、課題の解決と適切に判断し得る能力を身につける。
評価の方法	実習態度・取り組み状況、課題・レポートなどの提出物の状況・提出期限などを総合的に判断して評価します。			

3. 教科からのメッセージ

■陶磁器コース

- ろくろによる成形、石膏型による成形、板作り・ひも作りによる3つの成形技法についてその特質、約束事などを理解し、技能・技術に習熟することが必要です。
- 陶磁器作品展への出品を積極的に行ってもらうので、陶磁器制作についての制作意欲と制作態度を重視します。

3年(実習-陶磁器コース)年間指導計画表

単位数(6単位)教科書(日本セラミックス協会)

	目 標	セラミックに関する各分野に関する基礎的な技術を実際の作業を通して総合的に習得させ、技術革新に主体的に対応できる能力と態度を育てる。
月	学習項目	学習内容
4 5 6 7	ろくろ成形	1.オリエンテーション 2.ろくろ成形の基本である菊練、芯だしの学習。 3.花瓶、花器、鉢などの大物成形の基本であるとかんの制作 4.牛ベラ、押しベラを使用し、成形する。 5.カナを使い、削り仕上げる。 6.素焼き、施釉、本焼、合評会
8 9 10 11 12	石膏型による成形	1.オリエンテーション 2.コップや湯呑みのアイデア考案 3.石膏を用いた原型の制作 4.石膏使用型の制作 5.泥しょうの鑄込み及び排泥 6.製型物の仕上げ 7.素焼き、施釉、本焼、合評会
1 2	板作り、ひも作り成形	1.オリエンテーション 2.作品のアイデア考案 3.作品のミニチュア制作 4.実寸での作品制作 5.ヤスリ、カナを用いた仕上げ 6.素焼き、施釉、本焼、合評会